



カエル! ジャパン

Change! JPN

シンボルマーク等利用ガイドライン

もくじ

ITEM

		01
		02
フィロソフィー		03
シンボルカラーとその意味		04
運動名称とそのロゴタイプおよびカラーシステム		05
シンボルマークとそのカラーシステム		06
キャッチフレーズとそのタイプフェイス、およびシンボルマークとの組み方		07
モノクロや単色で使用する場合		08
シンボルビジュアルとその使い方		09
展開例-名刺（内閣府の場合）におけるシンボルマークの表示		10
呼びかけと参加の仕組み-（あなたのカエル！ジャパンとして使うために）		※別冊
清刷		PAGE
※参加者独自の取組を広げるために（カスタマイズの方法について）		

ひとつ「働き方」を変えてみよう!

カエル! ジャパン
Change! JPN 

自分にとって心地いい働き方が
周りのみんなにも心地よく響くといいね。
ひとりひとりが、仕事も、人生も、
めいっぱいいたのしめる
そんな会社や社会になるといいね。

たとえば「会議はみんなで1時間と決めてみる」とか
「朝、To Doリストを作ってみる」とか
…働き方を変えることで
プライベートをたのしむ時間をつくり出す。

社長も、ベテランも、新人も、
サラリーマンも、ワーキングマザーも…
「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」
の実現に向けて、仕事のやり方を何かひとつ、
今日から変えてみませんか？

シンボルカラーとその意味

色1. イエローグリーン

DIC: 642



色2. オレンジ

DIC: 2512



草花の色の調和を保つともいわれる葉緑素の緑色群から、この黄緑色を選んだ。自然界の命を感じさせる緑色に、明るい希望や暖かく光あふれる未来をイメージさせる黄色をたっぷりと混ぜた色。



「変える」という意味を強調し、そのための強い意志と熱いエネルギーを表す。

選定したシンボルカラーは、人々の目にふれる色を限定して「カエル！ジャパン」のイメージ積極的な統一を図るために、様々な表現物に使用する。

カラーシステム

DIC: 642		C: 55% M: 0% Y: 100% K: 0%	DIC: 2512		C: 0% M: 60% Y: 100% K: 0%
----------	---	-------------------------------------	-----------	---	-------------------------------------

運動名称とそのロゴタイプ

カエル! ジャパン
Change! JPN

このように和文表記をメイン、欧文表記をサブとして2段に重ねた表記を基本形とする。使用目的や表現意図に応じて両表記はそれぞれ単独での使用も可能となるが、字形や文字間および配色などには一切変更することがあってはならない。

カラーシステム

DIC: 2512

C: 0%
M: 60%
Y: 100%
K: 0%

DIC: 2039

C: 0%
M: 20%
Y: 30%
K: 0%

DIC: 2478

C: 40%
M: 90%
Y: 90%
K: 40%

DIC: 642

C: 55%
M: 0%
Y: 100%
K: 0%

DIC: 2109

C: 15%
M: 0%
Y: 30%
K: 0%

DIC: 389

C: 90%
M: 40%
Y: 90%
K: 40%

A_type



B_type



このようにシンボルマークにはA_typeとB_typeの2種類がある。
 これらシンボルマークは部分・全体にかかわらず一切の修正や変更を加えることができない。
 この形を保ったうえでの全体拡大・全体縮小のみができる。
 A_typeとB_typeは表現意図に応じて使い分けるものとする。

カラーシステム

DIC: 2512		C: 0% M: 60% Y: 100% K: 0%	DIC: 2039		C: 0% M: 20% Y: 30% K: 0%	DIC: 2478		C: 40% M: 90% Y: 90% K: 40%	DIC: 642		C: 55% M: 0% Y: 100% K: 0%	DIC: 2109		C: 15% M: 0% Y: 30% K: 0%	DIC: 389		C: 90% M: 40% Y: 90% K: 40%
-----------	---	-------------------------------------	-----------	---	------------------------------------	-----------	---	--------------------------------------	----------	---	-------------------------------------	-----------	---	------------------------------------	----------	---	--------------------------------------

シンボルビジュアルはグリーンのカエル！



[変える = カエル！]

現状を「変える」というちょっと勇気があることを、「カエル！」と称して誰もが知っているカエルのキャラクターにたくし、愛嬌をもって呼びかけて行く。言葉の洒落は、難題にもユーモアを持って明るく、くじけず臨もうという思いであり、ホップ・ステップ・ジャンプと跳躍するその力にもあやかる。

シンボルビジュアルの使い方について

シンボルビジュアルのカエルは運動名称ロゴとセットでシンボルマークとして使用することが基本である。

シンボルマーク B Type

シンボルマーク A Type



但し、表現意図から単独で使用する場合は、「シンボルマーク」または「運動名称ロゴ（和文・欧文の両方または片方）」のいずれかがシンボルビジュアルのそばにあるか、同一紙面（画面）において同時に認識される必要がある。これらの規定をはずれての単独使用は一切できない。



カラーシステム

DIC: 2512		C: 0% M: 60% Y: 100% K: 0%	DIC: 2039		C: 0% M: 20% Y: 30% K: 0%	DIC: 2478		C: 40% M: 90% Y: 90% K: 40%	DIC: 642		C: 55% M: 0% Y: 100% K: 0%	DIC: 2109		C: 15% M: 0% Y: 30% K: 0%	DIC: 389		C: 90% M: 40% Y: 90% K: 40%
-----------	--	-------------------------------------	-----------	--	------------------------------------	-----------	--	--------------------------------------	----------	--	-------------------------------------	-----------	--	------------------------------------	----------	--	--------------------------------------

キャッチフレーズとロゴタイプ

ひとつ「働き方」を変えてみよう!

シンボルマーク A_type & B_type にキャッチフレーズを組み合わせる場合は、それぞれここに表記したものを使用する。
この組み方は、シンボルマークにキャッチフレーズを組み合わせる場合の基本形である。
キャッチフレーズを主体にする場合はシンボルマークから切り離すことも可能である。

A_type



B_type



カラーシステム

DIC: 220



ひとつ「働き方」を変えてみよう!

ひとつ「働き方」を変えてみよう!

カエル! ジャパン

Change! JPN 

ひとつ「働き方」を変えてみよう!



カエル! ジャパン

Change! JPN

カラーシステム

Black or 1color :



100%



60%



20%

メディアや印刷条件等から、やむを得ずフルカラーでの使用が不可能な場合に限り、モノクロの場合も単色の場合も、左の3種類の網濃度を上記の見本通りに正確に使い分ける。